

平成25年 春季号

仙台市

農業委員会だより

発行日 平成25年5月1日

編集と発行 仙台市農業委員会
 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022(214)4308(直通)



農業者・業務推進員・農業委員との懇談会（仙台市農業園芸センター）

農業者との懇談会を行いました

2月22日(金)に、認定農業者に対する支援措置等をテーマに、認定農業者と農業委員との懇談会を農業委員会委員室で開催しました。参加者からは「消費税の課税売上高を引き上げてほしい」「農業施設に対する補助率をあげてほしい」「被災地以外の基盤整備も行ってほしい」との意見が寄せられました。

また、3月8日(金)には農業政策等をテーマに、農業者・業務推進員・農業委員との懇談会を仙台市農業園芸センターで開催しました。参加者からは、「農業政策に一貫性をもって継続してほしい」「行政から法人化の手續き等支援してほしい」など多くの意見が寄せられました。

今後とも、農業委員会では積極的に農業者の皆様のご意見を伺う場を設け、活動に反映させていたいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

平成25年度業務方針決まる 第27回通常総会

4月19日に仙台市農業委員会の第27回通常総会を開催しました。決定しました平成25年度の業務方針をご紹介します。

■業務方針

我が国の農業・農村は食料自給率の低迷、農業者の高齢化・担い手不足、農業所得の大幅な減少、農山村の活力の低下など厳しい状況が続いており、農地の確保と有効利用、遊休農地の解消、農地の利用状況調査、担い手への利用集積などを骨子とする新たな農地制度の施行以降、実際に農地制度を運用する農業委員会の役割と責任がますます重要なものとなっている。平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、本市においても東部地区を中心に多くの農家、農地等に極めて甚大な被害を受けた。現在、行政・地域・農業関係団体連携のもとに復旧・復興に向けた取り組みが進められているところであるが、真の農業復興には長い年月を要することが予想される。当農業委員会は平成23年9月に市長に対し「仙台市農業の復興に関する建議書」を提出し、平成23年11月に策定された仙台市震災復興計画に建議内容を反映してきたと

ころである。今後とも、市の復興計画が着実かつ適切に実施されるよう不断の検証を行うとともに、地域農家の声を集約しながら地域再生のために活動していかねばならない。

このような中、我々農業委員は農業者の代表として期待される役割を十分に果たすため、業務推進員及び地域農業者と連携を図りながら、取組目標と具体的活動を定め、委員活動の一層の強化と実効性ある地域活動を積極的に推進するものである。

このため、重点取組目標として、第一に「地域活動の充実・強化」、第二に「担い手の育成・確保」、第三に「優良農地の確保と有効活用」を掲げ、必要な対応を行うものである。

また、具体的な活動として、地区振興活動による認定農業者、生産組織等の担い手の掘起しと育成担い手に対する農地の貸し借りの掘起し、遊休農地の調査と指導、違反転用農地の是正指導、遊休農地の解消に向けた取組などを実施するものである。



現況届は、年金を受給するために必要な毎年の手続きです

農業者年金を受給されている方は、6月1日から6月30日までの間に、農業委員会または最寄りのJA仙台各支店に、持参又は郵送で現況届（5月中に、現況届の用紙が受給者の方に、郵送されません。）を提出して下さい。

現況届の提出がないときは、提出されるまでの間、年金の支払いが停止する場合がありますのでご注意ください。

農業者年金受給権者の「遺族の皆様」にお願い

農業者年金受給者がお亡くなりになられた場合は、最寄りのJA仙台各支店に、農業者年金受給権者死亡届を提出して下さい。

届出が遅れると、年金の返還が発生する場合があります。

お亡くなりになられてからできれば10日以内に、受給権者の死亡日日が確認できる住民票等の書類を添付して、最寄りのJA仙台各支店に提出をお願いします。

農業委員紹介

若林区 農地部会長

佐藤 勘一郎 さん



私は若林区日辺で水田4ヘクタール、畑1・6ヘクタール、パイプハウス10アールで専業農家として営農しております。妻には農産加工と販売の方を担当してもらっています。

春は野菜（果菜）類の接木苗の生産を、苗ピットを利用して行ない、種苗店やJA中央農業センターへ出荷しています。近年は接木苗の需要が多くなってきましたが、これも気候変動の大きな昨今の影響かなと考えています。

夏から秋にかけては果菜類の収穫に忙しい毎日を送っています。販売先が市内の飲食店やホテル、レストラン等の地産地消にこだわりの持っている料理人の方々です

ので、品質もさることながら味も大変にこだわっているため、手を抜くことなくおいしい安全な野菜を供給することに心がけています。冬はちぢみ法蓮草を仲間と共に各地に向けて出荷しています。人数が少なく供給が追いつかない状態ですが、農協の協力を得ながら営農に努力しています。

さて、今年、日本ではTPPへの協議参加を決定しましたが、農業への影響は限りなく大きなものになると考えられます。いままでの農業に対する考え方が問われることになるのかも知れません。



そのような中においても、私達は農業を職業として選択して農業を続けて来た訳ですから、これからも農業を続けていかななくてはなりませんし、安全で、安心できる農作物を消費者に届けていかななくてはなりません。私たち農業委員会は仙台市、JA仙台と一層協力して農家を守り、仙台市の農業を育てていかななくてはいけないと心に強く誓っているものです。

農家の皆さんが笑顔で毎日をごせるように、農業委員として農家と農業復興に努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

太白区 農政部会長職務代理者
嶺岸 若夫 さん



我が家は、水田6ヘクタール（作業受託12ヘクタール）、畑70アール、パイプハウス5アールです。ジャガイモ・人参・里芋・長

ネギなどを作付けしています。販売先は、学校給食の食材の供給をはじめ、スーパーの地場産野菜コーナーへも供給しています。

また、食育に力を入れており、児童農園は水田が7学校、畑が2学校、栽培指導が3学校と、積極的に受け入れています。栽培指導や農園の管理だけでなく、小学校へ出前授業も行っています。

政府はTPPへの参加表明を言い、これからの農業が、益々、不透明になっていきます。これからは、生産者と消費者が共に、食の安全・安心を考えて、地域の農業を応援し、行動していくことが必要だと思えます。農業委員として、地域の皆さんのお力をお借りしながら、日本の農業の大切さ、すばらしさを伝えていきたいと思えます。



あなたの出番です

若林区大和町にお住まいの

芳賀 奈美さん

にお話しを伺いました。

Q 農家の生まれですか？

A いいえ、違います。身近に農家はいませんでした。

Q 農家に嫁いだきっかけは？

A 私が以前勤めていた会社で主人と知り合い、結婚を機に農家に嫁ぎました。

Q 農作業はどうですか？

A まだ慣れていないこともあり肉体的につらくなる時もありますが、すべてが初めて経験することなので、とても新鮮で楽しく作業しています。



Q あなたの楽しみは？

A 独身時代はスキューバダイビングが趣味でした。

今は農作物を育てながら自然にふれて癒されています。でもたまには海に潜りたいな(笑)

Q これからの夢は？

A 夫婦共に楽しみながら農業を営み、消費者の方に喜んでいただけるおいしいお米や野菜を作っていきたいです。

(担当：阿部康幸 委員)



がんばっています

青葉区芋沢

新国 貴弘さん

私が農業を始めて、今年で6年になります。

中学を卒業後、宮城県加美農業高等学校に入り農業の基本を学びました。その後、農業実践大学校で2年間学び寮生活を送る中で、

ともに農業を志す仲間と出会うことができました。

現在我が家では、家族6人で乳牛60頭を飼育し酪農経営を行っています。私は小さい頃から機械や乗り物が好きで、いつも父の運転するトラクターに乗せてもらっていました。

酪農という仕事は、牛の飼育、飼料作物の栽培、機械の整備、各種作業など、様々な技術が求められる大変ですが、反面とてもやりがいがある仕事だと感じています。

私はスポーツが好きで、冬はスノーボードを楽しんでいます。今年パラグライダーなどにも挑戦してみたいです。

また就農後、同じく酪農をする先輩に誘われ入った4Hクラブでは、昨年からは仙台地区の会長を任せられています。4Hクラブでの同世



代のパワフルな農業者との活動は、とてもよい刺激となっています。

父や仲間達から技術を学んで、将来地域の農業に貢献していきたいです。

(担当：峯岸義信 委員)

農業委員会位置図

青葉区一番町4の7の17(小田急仙台ビル5階・三越仙台店南隣)
なお、駐車場は市役所駐車場をご利用ください。



編集後記

東日本大震災から2年が過ぎ、まだまだ取り残されている農地が雑草だらけの荒れ放題なのも現実です。

その中、少しずつですが新たに農業に意欲を持って、未来の農業に取り組みもうとしている方々もいます。

その方々に農業委員も協力をして行きたいと思っています。

(編集副委員長 松原菊男)